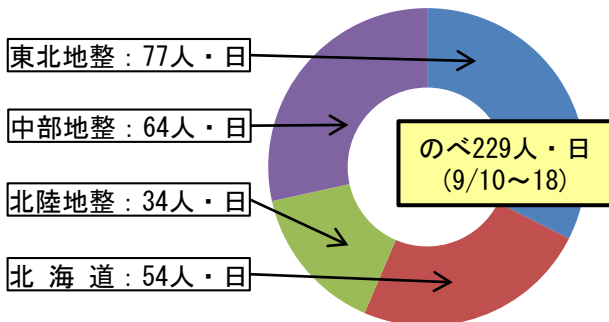


平成27年9月関東・東北豪雨(東北地方)への派遣

- 平成27年9月関東・東北豪雨により、鳴瀬川水系渋井川において堤防が決壊し、宮城県大崎市では約700棟の家屋に半壊・一部損壊、浸水など甚大な被害が発生。
- 発災当日には北陸・中部地方整備局からTEC-FORCEの先遣隊が東北地方整備局に参集するとともに、東北地方整備局をはじめ北陸・中部地方整備局、北海道開発局から、大崎市をはじめ宮城県内に排水ポンプ車（最大16台）を派遣し、24時間体制で排水活動を行い、5日間で浸水を解消。
- 排水活動により概ね1日で浸水が解消された大崎市では、首長から感謝の言葉をいただくとともに、浸水時間が軽減された田圃から一等米（等級検査）が収穫。
- 全国の地方整備局等からTEC-FORCEと排水ポンプ車等を派遣し、緊急排水活動、リエゾンによる宮城県及び福島県等（1県8市町）との連絡調整を実施。
 - ▶ TEC-FORCE：のべ229人・日派遣(9月10日～9月18日)



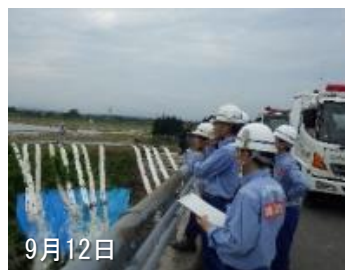
▼東北地方への派遣人数(のべ人数)



渋井川(宮城県)の状況



9月11日 上空からの被災状況調査



9月12日 広域支援による緊急排水



9月16日 緊急排水完了を県・市へ報告



9月15日 大崎市長に活動完了を報告

南会津町(福島県)の状況



9月10日 災害対策会議への出席



9月14日 町職員と合同での被災状況調査